

<週報No. 2, 925> 3, 036 回例会

2020年9月4日(金)

■会長/岩波 寿亮 ■幹事/小口 泰幸

◆司会=古屋了 SAA

◆ゲストビジター=成田守夫ガバナー、矢島進ガバナー
補佐、中田大輔クラブ親睦活動 IDM 委員長

◆出席報告=本日はありません

◆ニコニコボックス=●矢島進ガバナー補佐●飯田兼光君、玉本広人君、加藤明博君、北川和彦君=成田ガバナー
ようこそ諏訪ロータリークラブへ●早出由男君、折井俊美君、河西正一君=成田ガバナー、矢島ガバナー補佐
ようこそ。本日はよろしくお願ひします。●小口武男君=成田ガバナー、矢島ガバナー補佐
ようこそおいで頂きました。大変な時期ですがお身体に気を付けてご活躍ください。

●八幡一成君=皆様お元気そうで何よりです。成田ガバナー、矢島ガバナー補佐
ようこそ。●古屋了君=河西会員おめでとうございませう。ご長男の晴れの門出のお手伝いを
させて頂いて●佐藤忠士君=結婚記念日のお花ありがとうございました。●山崎晃君=皆さんお久しぶりです。

◆会長告知・岩波寿亮会長=本日はガバナー公式訪問例会です。成田守夫ガバナー、矢島進ガバナー補佐、中田大輔クラブ親睦活動 IDM 委員長、諏訪クラブへようこそお越しく
ございました。歓迎申し上げます。

さて、諏訪クラブは7月末における諏訪市内での新型コロナの感染者発生等により、8月いっぱい例会開催を自粛して
おりました。その間、ガバナー補佐訪問には会長、幹事にて対応させていただき、9月の例会から再開いたしました。

私に限らず、皆さんは初めて花火のないお盆を体験されたことと思います。観光業や関連の皆さんは、大変な状況か
と思います。また一部でしょうが製造業の皆さんは、かなり長期のお休みをとられた会社もあるとお聞きして
います。本当に大変なことだと思います。一方、新聞のコラムによりますと、あるアンケートで新型コロナ感染拡大前と比べて約2人に1人が「健康になった」と実感しているとのことです。外出自粛に伴う体重の増加などを機に、「健康への意識が高まった」「食事、栄養に気を配る」

「運動を心掛ける」「ストレスをためないように心掛ける」「お酒を減らす」などの回答が多かったとのこと
です。個人は、懇親会がほぼ無くなり、ウォーキングをすることで減量、それも体脂肪率の減少を勝ち取りました。

話は少し変わりますが、国土交通省が8月31日「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」(論点整理)というものを発表しました。論点1は、都市(オフィス等の機能や生活圏)の今後のあり方と新しい政策の方向性、論点2は、都市交通(ネットワーク)の今後のあり方と新しい政策の方向性、論点3は、オープンスペースの今後のあり方と新しい政策の方向性、論点4は、データ・新技術を活用したまちづくりの今後のあり方と新しい政策の方向性、論点5は、複合災害への対応等を踏まえた事前防災まちづくりの新しい政策の方向性とあります。要は「人々の働く場所・住む場所の選択肢を広げるとともに、大都市・郊外・地方都市と、規模の異なる複数の拠点が形成され、役割分担をしていく形が考えられる。複数の用途が融合した職住近接に対応し、様々なニーズ、変化に対応できるような街づくりが必要」ということです。働く場と居住の場の融合が起こる、東京一極集中の是正が進みやすくなる、そして余剰スペースが発生するという訳です。さあ諏訪圏はどうする、これが我々の課題です。問題はアフターコロナ、ウィズコロナの中で、私たちの日常の暮らし、仕事が元に戻る可能性があるのか、ビジネスモデルが再定義できるかということではないでしょうか。

◆幹事報告・小口泰幸幹事=①成田ガバナー、矢島ガバナー補佐、中田クラブ親睦活動 IDM 委員長、ようこそおいで
ございました。歓迎申し上げます。本日は国際ロータリー第2600地区成田ガバナーの公式訪問です。後ほどガバナー卓話を頂きます。②国際ロータリー第2600地区2020-2021年度地区大会は10月4日(日)に上田市で開催されますが、コロナ感染予防に配慮し入場制限されます。理事の皆様にご案内し、参加者を選出させて頂きました。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。参加者は岩波会長、三井パストガバナー、北川会長エレクト、加藤副会長、前田理事、小口理事、小平理事、小口幹事の8名です。③9月のロータリーレートは1ドル106円です。休会中の8月は105円でした。④記念切手「日本のロータリー100周年」が9月18日(金)に発売となります。⑤本日は恒例により、記念写真の撮影があります。⑥本日の定例理事会は都合により取りやめます。⑦次回9月11日は親睦・ク

ラブ親善委員会担当のゴルフ例会です。⑧9月18日の例会はロータリーの友特別月間として、会報・雑誌・広報委員会の担当です。橋詰委員長、ご準備をお願いいたします。また、8月28日に予定しました前年度決算・新年度予算についてクラブ協議会を行います。

◆委員会報告

●親睦・クラブ親善委員会 小島拓也委員長＝ゴルフ例会のご案内です。コロナ禍ですので完全防止対策をします。

◆ガバナー公式訪問 成田守夫ガバナー＝皆様お一人お一人にご挨拶をしなければいけないと思っておりますが、限られた時間でございますのでご理解を頂きたいと思えます。

今一番私が心配しているのは日本の18歳人口です。現在120万人で10年後に100万人に、さらに10年後になりますと88万人になるといわれております。そうすると10年後20年後に地域振興を図ろうといっても、現実的には不可能であります。何か行動を起こさなければいけない。果たしてどういう社会をつかっていったらいいのか、今から考えていかなければいけないということで、こういうテーマを出させていただきます。



お手元の資料で、1905年はポール・ハリス氏がロータリークラブを設立した年でございます。ロータリーが創設され、人々とのつながりを礎とする奉仕のリーダーシップという新しいモデルの先駆けになりました。

私たちロータリアンは、まさに行動人としてこのビジョンの実現に計画と実行が必要であることを知っています。それゆえに私どもは新たな自立的な地域振興に向けて、ロータリーから信州を元気にするため力強く行動してまいります。

先ほどの岩波会長のご挨拶で、経済界のリーダーでいらっしゃる岩波会長からは、地域を引っ張ろうという意気込みを感じました。まさにロータリアンお一人お一人がそういう意識になっていけば、地域は元気になる。そこでロータリーの本質と使命の確認をし、計画と実行へと書いておきました。日本のロータリー100年は、奉仕活動のリーダーとしての歴史でございます。そのため地域社

会にとって、なくてはならない存在がロータリークラブだと私は考えております。従ってロータリアンの提言、実行、実現、信用、ネットワークの活用で自ら行動することが求められていると思います。

信州の産業と人材育成の輝きをロータリーからと書いておきました。産業振興なくして信州の発展はございません。一生懸命働くことによって、家族を守り事業所を守り組織を守り、そして地域を守って発展させようという気持ちがお互いにあるわけです。例えばこのような状況の中で例会を開く、少しでも地域の経済が回転できるようにアクションを起こさないと経済は動きません。

ロータリーメンバーの結束力、業界力、地域力を活用することで、まさに皆さんが結束力を持って英知を結集すれば、この地域の振興は色々な形で見えてきます。そして出てきた英知の中の一つでも実行に移っていけば、私は一步一步、地域社会が元気になるというふうに思います。

次に月信について申し上げます。月信を通じて地域振興に結びつけばいいなというふうに考えております。長野県内には9グループございますので、表紙にはそれぞれのガバナー補佐様からご推薦いただいた地域を元気にした人をご紹介します。地域が少しでも元気になるのではないかとお願いしてございますので、ご理解をいただきたいと思えます。

最後に一言だけ。ロータリアンの笑顔は周囲を成長させてくれるというふうに私は最近考えております。そういうロータリアンの活動を、お互いに目指して参りたいと思えますので、それぞれの立場でご理解を賜ればと思えます。ありがとうございました。

◆点鐘について・岩波寿亮会長＝本日は日本ロータリー100周年の鐘です。



◆今後の例会日程

| | | |
|-------|---|---------------------------|
| 9月11日 | 金 | ゴルフ例会（諏訪湖カントリー） |
| 9月18日 | 金 | クラブフォーラム （ロータリーの友特別月間） |
| 10月2日 | 金 | クラブフォーラム（会員卓話） |